

町田・相模原のビジネスをリードする町田・相模原経済同友会 会報

武相エコノミスト

Vol.17 2023.8.1

BUSO ECONOMIST

SPECIAL FEATURE

内閣府特命担当大臣

小倉まさのぶ

町田・相模原経済同友会 代表幹事

井上 博行

企業と人

株式会社タウンツアーズ 代表取締役会長

牧野 正

私の行きつけの店

社会福祉法人 竹清会 理事長 矢沢きよみ

鉄板たかはし

少子化がもたらす未来を変えるために、
政治と経済が今なすべきこと

内閣府特命担当大臣
(子ども政策、少子化対策、若者活躍、男女共同参画)

町田・相模原経済同友会 代表幹事

小倉まさのぶ × 井上 博行

日本の行く先を見据える時、避けて通れない大きな問題がある——少子化。昨年には出生数が80万人を割り、危機的状況へのカウントダウンはいよいよ待ったなしとなった。この未曾有の事態に、政治と経済がなすべきことは？ 子ども政策・少子化対策に尽力する小倉まさのぶ内閣府特命担当大臣と、町田・相模原経済同友会の井上博行代表幹事が、未来を変えるための「今」を語る。

撮影：田坂圭

少子化問題の現状と課題

井上 小倉大臣とは事あるごとに意見交換をしましたが、今回は少子化対策と子ども政策を中心にお話を聞かせてください。まず、少子化問題の現状についてご説明いただけますか。

小倉 昨年、日本の出生数は初めて80万人を割りました。これは人口減少推計のペースを8年も上回っており、このまま2030年代に入ると、若年人口が今の倍のスピードで減少していくことになりそうです。その影響は広範に及ぶことが予想され、例えば働く世代が少なくなることで年金・医療・

すべてのこどもの育ちが
保障される政策を進めます。——小倉

介護などの社会保障制度の持続可能性が不安定になってしまふ。また、有力な消費者である現役世代が減れば、経済や市場の規模も縮小するでしょう。さらに、警察官や消防隊員をはじめ、地域の治安や安全を守る仕事の担い手も確保しにくくなります。そのため、我々は2030年までをラストチャンスと捉え、それまでに少子化トレンドを反転させるべく、「次元の

異なる少子化対策」のパッケージを取りまとめました。

井上 多岐にわたる少子化対策の中で、最重要項目は何でしょうか。

小倉 人々が「結婚したい・子どもが欲しい」と考える社会の実現ですね。結婚離れの根底には所得の伸び悩みがあるもので、若い世代を主とする現役世代の経済環境を良くして、子どもが欲しいと望む人が躊躇なく子どもを産めるようにしなければいけません。妊娠・出産から子どもを社会に送り出すまでの営みは約20年にわたりますから、どのライフステージにおいても支援を充実させ、子育てにかかる経済的・精神的・身体的負担を軽減することが大事だと思います。

一方で、こどもにまつわる問題も深刻度を増しています。児童虐待の相談・通報件数、不登校児童数、いじめの件数はいずれも過去最悪となっています。そうした中、こどもの目線に立った政策を、省庁を超えて統括する役割が必要だというところで、2023年4月に発足したのが「こども家庭庁」です。

井上 こども家庭庁は、複数の省庁にまたがる事案を集約するための有意義な機関だと思います。ただ、学校教育や幼稚園に関わる業務は文部科学省に残され、文科省所管の幼稚園と厚労省所管の保育所を統合する幼保一元化も見送られてい

盆栽型ではない、露地栽培型の
ように自由な教育を。——井上

たりする状況下で、多様な課題にどのように対処していくのでしょうか。

小倉 こども政策は文科省と緊密に連携して進めますし、このたび閣議決定された第4期教育振興基本計画にもこども家庭庁発足後の指針が盛り込まれました。また、こども家庭庁では、教育を行う施設も教育を主としな

りが安心して過ごせる場を積極的につくろうと考えています。幼稚園や保育所に通っていない未就学児のための環境づくり、就学児童の放課後の居場所づくりなど、こどもがどこにいても育ちが保障される政策を進めたいのです。こども家庭庁ができて、こどもへの支援が総合的になった——そう感じていただけるように努めます。

こどもを伸ばす教育のあり方

井上 これからは、子育てのしやすい街づくりも必要かもしれませんね。ちなみに、町田市はここ数年、子育て世代の転



今回の対談は「こどもまんなか広場」で行った。こどもまんなか社会を目指すこども家庭庁が開設したスペースで、こどもと保護者、地域の人々が参加する催しなどに利用される。「現職には苦難もありますが、こどもたちに接すると心が洗われ、原点に戻れます」と小倉氏。



小倉まさのぶ Masanobu Ogura
内閣府特命担当大臣（こども政策、少子化対策、若者活躍、男女共同参画）
女性活躍担当大臣、共生社会担当大臣、孤独・孤立対策担当大臣

1981年、東京都生まれ。東京大学法学部卒業後、日本銀行に入行。2009年にオックスフォード大学大学院を修了、金融経済学修士号を取得。2012年の衆議院議員選挙（町田市・多摩市選出）で初当選し、以降3度の当選を経て、2022年8月に発足した第二次岸田内閣にて内閣府特命担当大臣に任命された。

これまで成長してきたわけですから、その点にも目を向けたいですね。現在は工業高校や商業高校に生徒が集まらない状況で、一時期の3分の1程度の人数になっているようです。生徒が減れば学

小倉 そのお考えには共感するところがあります。従来の知識習得型教育も大切

ですが、社会で活躍できる能力という点で、我々は非認知能力を重要視しています。非認知能力とは、根気強く取り組む姿勢や積極性、モチベーションなど、数値で図りにくい能力のことで、それが一番伸びるのは就学前だと言われます。先

ほど「育ちの保障」の話をしましたが、人生で最も大きな成長効果を生む就学前の時期に、非認知能力を伸ばす教育をすべきなのです。また、何かに突出した能力を持つギフトッドと呼ばれることもたちについても、芽を摘むのではなく、育む環境が不可欠です。不登校児童の中には、すごい才能を秘めているけれど通常の学校生活には馴染めないという例がたくさんあります。これまでの不登校対策は学校に復帰させることが主でしたが、近年はどんな場所でも学びを保障し、才能を育てる方向に変化しつつあります。

井上 資源のない日本はものづくりでこ

構造的課題も残る中で、女性の能力をさらに活かす政策も必要です。

安心して子育てできる社会へ

井上 こども支援や男女共同参画社会の推進には大いに期待しますが、先のお話のとおり、やはり今は共働き世帯でもこどもを育てるのが大変です。物価が上がっても賃金は上がらないという。リス

小倉 おっしゃるとおり、子育て世帯の所得をさらに高めていくことが大切ですね。2023年の春闘の集計結果は平均賃上げ率3.58%という30年ぶりの高

水準でしたが、もっと上げなければなりません。そして、リスクリ



井上 博行 Hiroyuki Inoue
町田・相模原経済同友会 代表幹事
町田デザイン&建築専門学校 理事長

1940年、町田市木曽町生まれ。大手建設会社就職を経て、設計事務所を開設。建築業に携わるかたわら町田市議会議員を3期務め、1978年には多摩造形学園（現・町田デザイン&建築専門学校）を創立した。現在、宮大工を養成する匠塾の開校準備を進めており、今後は文化継承に寄与する人材の育成にも力を注ぐ。

幅広い世代の方々にこれからの産業を支えていただくためにも、経済を発展させ、若い方々の所得を伸ばし、安心して子育てできる社会をつくりたいですね。

井上 町田市は子育て世代の転入が増えているとはいえ、町田・相模原エリアでは介護福祉などの様々な職種で人材不足も起き始めています。小倉大臣には、今後もぜひご協力をお願いいたします。

小倉 はい。町田・相模原は東京と神奈川をつなぐ要路であり、大商業圏でもありますから、ぜひ東京・神奈川の広範囲を牽引していただきたいですね。そのために都県議会議員や市議会議員の方々

My Favorite Place 私の 行きつけの店 第 14 回

鉄板たかはし



社会福祉法人 竹清会 理事長

矢沢きよみ

フレンチシェフのもてなしを 明日の元気と活力に



奉仕の精神、思いやり、笑顔——高齢者福祉施設を運営する社会福祉法人竹清会のモットーである。創設者で理事長の矢沢きよみ氏も、ポジティブな理念に違わぬ快活な人物だ。彼女の周りには、いつも楽しい笑い声が溢れている。職員の8割を女性が占める竹清会だけあって、氏が定期的に催す女子会も華やかで賑やか。その舞台としてよく利用するのが、「鉄板たかはし」だという。

オーナーシェフは、高橋孝幸氏。1964年に料理の世界に飛び込むや、渡欧して数々のレストランで腕を磨き、フランス随一の料理人国家資格を取得。帰国後は小田急グループホテルの総料理長を歴任し、15年前に独立した。職人気質で寡黙だが食への情熱は深く、ふと見せる柔らかな表情にゲストへの心遣いがにじむ。小田急線がたがな新宿と箱根の中間点Ⅱ町田に店を開いたのは、「小田急ホテル時代のお客様も来店していただきやすいように」との想いゆえだ。なぜフレンチのシェフが鉄板焼かといえば、曰く「世界に通用する日本料理であり、和洋中のいいとこ取り。幅広い食材を扱えるうえに、お客様の前で焼くというエンターテイメント性

もある」から。そこへフランス仕込みの技法を投入することで、無二の味を生み出している。人気メニューは、最高峰の神戸牛ステーキ、素材とソースにこだわった魚介系、オマール海老のスープなど。

開店当初から通い続ける矢沢氏も、「お肉はもちろん、時々の味わいに調理してくださる旬の魚介が大好き。それに、ガリックライスね。いろいろなところで食べてきましたけれど、こちらのものは最高です」と絶賛する。何よりも、家庭的な店の雰囲気シェフの料理がマッチして、ゆっく

矢沢氏の施設でも、利用者にとってそこが自分の家だと思えるようなアットホームな空間づくりを大切にしている。24時間365日、徹底した安全管理が求められる過酷な職場ながら、しかし竹清会の離職率は極めて低く、産休や育休を取る職員も皆戻ってきてくれるのだと氏。秘訣はやはり、思いやりと笑顔。そして、仲間たちと養う元気と活力も欠かせない。

「このお店で過ごすひときは至福です。美味いものを食べて、リフレッシュして、明日もまた頑張りますよ」



鉄板たかはし 町田市森野 1-35-7 町田北口ビル 1 階 TEL 042-721-7161

営業時間＝④～⑨ 11:30～14:00 / 17:30～21:00 ⑥ 17:30～21:00 月定休 貸し切り予約可（14名まで）



雲のように自在に、

「変化」を楽しむ

株式会社タウンツアーズは、町田と八王子を拠点に、関東全域を商圏とする旅行会社だ。特に武相エリアにおいては、小中学校の修学旅行やバス遠足といえばタウンツアーズ……とのイメージも根強い。地域密着型の安心感と、柔軟かつ自由度の高い旅行プランニングに定評があり、業界全体が危機に瀕したコロナ禍も見事に乗り切った。時代の変化に動じない、創業者 牧野正氏のポリシーに迫る。

BEGINNING

とりわけ、こども時代を町田・相模原で過ごした人は、「TOWN」と記された青い雲のマークに親しみがあるかもしれない。おそらく、それは修学旅行で乗ったバスの団体名ステッカーや、遠足のしおり・資料に付いていたのではないだろうか。だから今でも、ふわりと飛び立つようなそのマークを見かけると、旅のワクワクを思い出して心がはずむ……。そんな素敵なシンボルを掲げる旅行会社が、タウンツアーズだ。創業者は牧野正氏。町田を拠点に45年、どっしりと着実に地歩を固めてきた。

日本の旅行業界は、初めて東京五輪が開催された昭和39年以降、急速に拡大する。とはいえ海外への渡航はまだまだ高嶺の花で、昭和40年代から50年代にかけては庶民にも手の届きやすい国内ツアー商品の開発が一挙に進む。教員を目指し



株式会社タウンツアーズ 代表取締役会長

牧野 正 Tadashi Makino

て大学で学んでいた牧野青年が、旅行代理業の存在を知ったのもその頃で、「旅をしたい人を見つけて連れていく、そんな楽しい仕事があるのか」と一念発起。八王子の旅行会社に就職して、町田エリアの営業を担当するようになる。

INDEPENDENCE

最先端の業種だったこともあって競合は少なく、こと東京郊外においてはブルーオーシャンが広がっていた。旅行関連サービスの未来に可能性を感じた牧野氏は、30歳で独立を決意。当時は脱サラとしての起業は異例だったが、確かな自信があった。門出の地は、町田市中町。営業時代に育んだ人脈をつてにタウンツアーズを立ち上げるにあたり、元の会社の社長も快く背中を押してくれた。

時は昭和54年。団体旅行やパッケージツアーが身近になるにつれ、企業の社員旅行や慰安旅行、小中学校の修学旅行やバス遠足、社会科見学の需要も増加する。

牧野氏は中でも学校の仕事に力を注ぎ、町田を主とする地域で着々と信頼を築いていく。バブル期に入ると華やかな海外ツアーに人気が集まり、社員たちはそろそろに精を出すようになるが、社長はずつと学校を軸に据え、自ら添乗員を務めることもしばしば。

実情を見ると、公的な旅行は予算が限られていて、リスクマネージメントの面でも制約が厳しかったため、利益率は決して高くない。それでも氏が学校を大事にしていたのは、こどもたちに新鮮な喜びを提供したいから。指定の行き先は変えられないにしても、宿泊先や立ち寄る場所を柔軟にアレンジすることを心がけた。

PHILOSOPHY

もう一つのポイントは、学校行事は毎年実施され、日程変更はあってもキャンセルは少ないということ。旅行業界は社会情勢に左右されやすく、コロナ禍で大打撃を受けたことも記憶に新しいが、そ

こでも学校の仕事は命綱となった。県をまたぐ移動まで自粛が求められる中、企業の案件は白紙となったが、学校行事は延期や内容を見直す形でかろうじて維

COMPANY PROFILE
株式会社タウンツアーズ

創業：1979年（昭和54年）1月
事業内容：旅行プランの作成、宿泊・航空券・船車券・貸切バス・見学観光地などの手配
所在地：[本社営業所] 町田市中町 2-6-11 2F
[八王子支店] 八王子市子安町 3-8-10 ミヤサカビル 2F
TEL：[本社営業所] 042-727-2977

武相エコノミスト

題 字 小山克己（株式会社三和 取締役）

号 数 第17号
発行日 2023年8月1日
発行所 一般社団法人 町田・相模原経済同友会 〒194-0013 東京都町田市原町田5丁目3-5 リシェール町田211 TEL 042-732-3358 FAX 042-726-3577

制作 有限会社コムネットシステム
制作協力 bluecabin editworks
印刷 株式会社芳文社

【第132回例会】

日時：9月14日（木）午後6時～
講師：株式会社ゼルビア 渉外部部長 近藤安弘氏
場所：レンブラントホテル東京町田

【法人化記念講演会（第133回例会）】

日時：10月11日（水）午後6時～
講師：多摩大学学長、（一財）日本総合研究所会長 寺島実郎氏
場所：レンブラントホテル東京町田

今後の予定

町田・相模原経済同友会
入会のお申し込み・お問い合わせ

TEL 042-732-3358 <https://ms-doyukai.jp>

幸せな暮らしと働き方を



円熟の歳月を美しく

みさと

美郷

町田市小山ヶ丘1-2-9

特別養護
老人ホーム

特養・ショート・通所介護・訪問
介護・居宅・包括高齢者総合福祉
施設の「美郷」「花美郷」と、都市
型リハビリデイスタジオ「Rise
Labo」の3拠点では、家庭的雰囲気
を大切に、生活環境やプライバシー
の重視を考慮して、新しい介護
サービスを目指しています。



花美郷

はなみさと

特別養護老人ホーム 町田市小山ヶ丘1-12-5



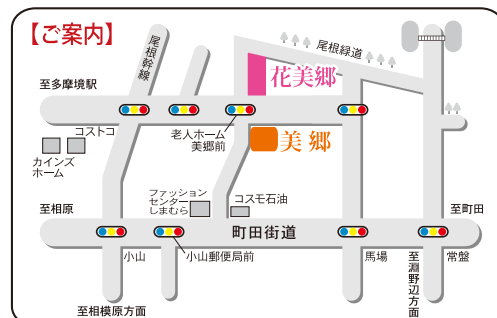
花美郷居室内



リハビリテーション デイスタジオ
「Rise Labo」



美郷ロビー



交通機関
●JR・小田急町田駅より橋本行きバスにて30分
バス停「小山郵便局」下車 徒歩10分
●JR橋本駅北口より町田行きバスにて15分
バス停「小山郵便局」下車 徒歩10分
●京王線多摩境駅より徒歩20分



社会福祉法人
竹清会
<https://chikuseikai.com/>

TEL：042-797-0565

FAX：042-797-1880

e-mail: misato1@chikuseikai.com